

平成25年度 第2回 河内長野市文化振興計画推進委員会 議事録

【日時】平成25年9月5日（木）午後1時～午後3時

【場所】市役所7階 701会議室

【出席者】

〈河内長野市文化振興計画推進委員会委員〉

末延 國康・浅尾 広良・荒川 透・今村 尚美・来村 多加史・栗本 智代・中道 厚子・
長山 公一・寶楽 陸寛・水落 学・安福 迪子

〈事務局（河内長野市教育委員会事務局ふるさと文化課）〉

和田・大江・井上・東畑・西野

〈オブザーバー（公益財団法人河内長野市文化振興財団）〉

萬木

【配布資料】

- ・平成25年度 第2回 河内長野市文化振興計画推進委員会次第
- ・資料1 河内長野市附属機関設置条例
- ・資料2 河内長野市文化振興計画推進委員会運営規則
- ・資料3 河内長野市附属機関等の設置、運営及び公開に関する指針
- ・資料4 河内長野市文化振興計画推進委員会会議の傍聴要領
- ・資料5 スケジュール
- ・資料6 実施状況表
- ・資料 委員名簿
- ・資料 日程表
- ・公益財団法人 河内長野市文化振興財団 平成24年度事業実施報告書
平成25年度事業計画書
ラブリーニュース 他

以上

〈開会〉

案件 1 委嘱状の交付

- ・委嘱状の交付
- ・委員自己紹介

浅尾委員

大阪大谷大学で文学部長をしている浅尾です。専攻は日本語日本文学科。専門は、日本文学の平安文学、特に物語文学を中心に研究している。

荒川委員

大阪芸術大学初等芸術教育学科の荒川です。河内長野へこのような形で来るのは初めて。元々専攻は理論科学で、化学を実験でなく理論で担当し、その後、数学や情報教育等を担当している。

今村委員

河内長野市立天見小学校教頭の今村です。専門分野は音楽、大学ではピアノ専攻。学校音楽を担当し、また、本市のファミリーミュージカルの指導に2度ほど関わり、生涯学習という観点からも音楽を担当している。

来村委員

阪南大学国際観光学部来村です。考古学が専門であるが、歴史学や、中国の考古学・歴史学も担当している。また軍事なども。専門以外に、観光ガイドを20年ほど勤めており、そういう視点からも協力出来ればと思う。

栗本委員

大阪ガスエネルギー・文化研究所の栗本です。大阪ガスの正規社員だが、研究所の特徴上、大阪の歴史文化からのまちの活性化を目指すという活動をしている。

末延委員

大阪芸術大学の初等芸術教育学科の末延です。河内長野の住民であると同時に、長年中学校の美術教師として、専門は図工・美術を科目として担当、特に絵画造形療法、子どもの絵の心理を読み取ることを研究分野にしている。

中道委員

大阪大谷大学の中道です。専門は生涯教育学、子どもから高齢者の方まで広く学びの可能性について探求している。私も河内長野の住民である。

長山委員

大阪春秋という郷土雑誌の編集をしている長山です。今年の夏、奥河内の今昔物語という特集を雑誌で組ませて頂いた。

水落委員

公益財団法人文楽協会の水落です。人形浄瑠璃文楽の舞台の製作をしている。以前は関西二期会でオペラの制作をしていた。

安福委員

大阪府美術家協会会員であり、河内長野市美術家協会会長の安福です。第2のふるさと

を河内長野に決め、30年余り。河内長野の美術に役立ちたいと思っている。

- ・教育長挨拶
- ・事務局紹介
- ・配布資料の確認

案件2 委員長・副委員長の選任

- ・事務局一任との発言を頂く。

事務局より、委員長は大阪芸術大学芸術学部初等芸術教育学科教授の末延委員、副委員長は同じく大阪芸術大学芸術学部初等芸術教育学科教授の荒川委員を提案。

－異議なし－

委員長には末延委員、副委員長には荒川委員を選任。

- ・委員長及び副委員長挨拶
- ・出席状況の報告

案件3 会議の公開及びその方法

- ・前委員会において公開と決定されたが、引き続き公開とすることについて了承を求める。(資料3参照)

－異議なし－

委員長より、毎会議ごとに、公開の了承を得るよう要請あり。

会議の公開を決定。

- ・事務局より公開の方法について説明(資料4参照)

案件4 河内長野市文化振興計画の概要及びその進捗状況について

- ・今後のスケジュールの説明(資料5参照)

末延委員長

2ヶ月に1回の会議予定、また期日までにすべきことが明確化されている。ソフト面の評価、その基準や観点をどうするかが最大のポイントだろう。次回から、皆さん全員に意見を求めたい。次回はラブリーホールで見学、会議となる。質問はないか。

寶楽委員

文化振興計画策定にあたり、市の中のこの委員会の立ち位置は？策定した計画が、庁内でどのように取り扱われ、どの程度政策に反映されるのか、具体的に教えて欲しい。

井上課長

市にとって最大の計画は総合計画。この計画の下に各分野での計画が立てられる。文化については、この直近の下にあるのが文化振興計画。今回、庁議や定例教育委員会、議会に諮っていき、市全体で取り組んでいきたいと思っている。

末延委員長

他に質問は。進める中で、ラブリーホールを拠点とし、市全体の文化をチェックしていただくとうちは聞いている。まずソフト面ハード面を見極め、評価し、諮問へ持っていくことになるだろう。

・河内長野市文化振興計画の概要について説明

井上課長

本市において、国宝・重要文化財が合わせて84件、その他府・市指定等、指定件数は全国の市レベルで14番目という歴史的資源の厚さ。また山林が市域に必ず見られるという自然の豊かさ。そして当市として、市の南に位置する滝畑等を含めた地域を奥河内として売り出そうとしている。そういった河内長野らしさを活かす計画が、今までも、うたわれていた。その具体的内容については、これから説明する。

・河内長野市文化振興計画の進捗状況について説明（資料6参照）

末延委員長

私は、この「河内長野らしさ」にこだわりたい。皆さんそれぞれの分野で、この「河内長野らしさ」がどうあるべきかを考えて貰えたら。

萬木館長

一点補足を。資料6「3（1）③学生のためのインターンシップ制度の確立を」について。直結していないが、ラブリーホールで、大阪芸術大学から毎年数名の学生を受け入れ、インターンシップを実施している。

末延委員長

「4（2）④大学との連携を」に大阪芸術大学は入っていなかったが、色々協力しているということだろう。質問等あればどうぞ。

来村委員

我々が評価の基準を作るということだが、今聞いた全ての事業についての評価の基準を定めるのが我々の仕事なのか？

東畑主査

それをお願いしたいと思っている。

末延委員長

全てを網羅した評価は難しい。ポイントを絞って評価の方向付けを行い、そこから他分野に関わる所を見つける、もしくは具体化していくといった方法を取らなければいけないだろう。では委員の皆様、一言ずつどうぞ。

浅尾委員

「3文化をつなぐ（2）さまざまなコミュニケーション・ツールの開発と提供」という部分だけが手付かずだが、何か理由があるのか。

東畑主査

得に理由はなく、現状として実施出来ていないということ。本市として欠けている部分との認識はある。

浅尾委員

「3（3）「評判」を語り合おう」も未実施だが、これは何の評価を与えればいいのか難しく、イメージがわきにくい。未実施のものは、どう攻めるかが明確になっていないという問題点があるのだろう。

末延委員長

「(3)「評判」を語り合おう」からの声は、我々が評価をする上での資料になる。未実施だが、もし実施されれば、また教えて欲しい。

今村委員

学校との直結部分は少ない。アウトリーチ事業をここ数年進めているが、活用が難しい。子ども達が構えず文化に触れる為、どこから提示するべきか、整理が必要。敷居が高い分野もあるが、幼い頃から触れることで将来視野が広がる。そのため、学校と芸術との結び方を整理していかなければならない。

来村委員

評価する目的がはっきりしない。概要版4頁「⑤アームズ・レングスの原則」の文章から、第三者機関としてこの委員会があるのだろう。この文章のように、文化芸術活動への助成の配分等についての評価なのか、あるいは先ほど聞いた通り、市の文化事業全体への評価なのか、またおいおい教えて欲しい。また、委員メンバー一新の理由なども。

末延委員長

教育長から話があったが、今まで第三者機関でなく内輪で評価している中で、文化が推進されにくかった。このメンバーの一新で、厳しい目で評価して欲しいとのことだろう。

栗本委員

河内長野市民なら、事業がどれほど市民に浸透しているか実感しながら評価することが出来るが、私は資料のみが頼り。河内長野市が目標とし強化を望む部分はどこなのか、またそれに対してどう取組み、実績はどうであったのか等が分かり、初めて評価が下るもの。この5枚の実施状況表の中で、力を入れた部分のプロセスや市民の声などが資料であれば着目しやすい。また、認識している問題点等もあれば教えて欲しい。

中道委員

以前は、個々が生涯学習により豊かな人生を築くことが中心。だが現在は、連携によりいかに他人と関わり、良循環へ入っていくかが課題。しかしこの状況表は、個々の生涯学習という点状況の成果のみで、取り組んだ結果である現在の状況が分からない。次の10年、減少する市民の中、子ども達も巻き込んで、河内長野に育て良かったと思ってくれる次世代を我々は育てなければならない。そして、増加する高齢者の知恵とエネルギーを上手く注ぐための仕組みづくりも。点を線、そして面に変える。これが我々の仕事だろう。

長山委員

未実施の記載が気になる。アーティストとの繋がりがまだ出来ていないのだろうか。また、未実施という記載と不明という記載があるが、不明とはどういうことなのか？

東畑主査

未実施は実施されていないこと。不明は、把握が出来ていないこととなっている。

長山委員

把握しようと思えば出来るのか？

東畑主査

不明の多くが市民主体の事業。もしかしたら実施されているかもしれないが、行政まで情報が届いていないので、不明とした。

寶楽委員

私は、ファシリテーターとして、業態としては中間支援という分野に入る NPO で仕事をしている。生まれが河内長野。前委員メンバー時からこの委員会に参加している。この実施状況表はあくまで行政側の視点であり、未実施や不明は、市民視点では違う評価が出てくるだろう。文化のプレーヤーは多くが市民。そのため、評価をする上で市民視点を取り入れることは、協働の社会作りの上で重要だと思う。事業の評価、又は市の施策の中で未来に対し文化を残していく方法は、前回の委員会で議論出来なかった。活動を展開していれば必ず行き詰る、そういう時に政策を提言出来れば。これから高齢者が多くなるが、ある意味文化をじっくり伝えていける時代になるのでは。社会変化を見据えた議論をし、市民に対し登るべき階段を示し、未来の灯台となるような指針を作っていきたい。

末延委員長

同じ観点でなく、人口が変わり年齢が上がることによって観点も変えていくことで、文化の向上が考えられるということ。

水落委員

ひとつのキーワードとして河内長野らしさとあるが、河内長野市として、文化が充実しているのが河内長野らしいのか、それとも「河内長野」を推していくのか、その方向性が見えづらい。また「2 (1) ③マイタウンオペラ等河内長野から全国に発信する」という部分だが、10 年程前には、有名な演出家の方を呼びスクールを行うなど、それなりに全国的に発信出来ていたのではないかと思うが、また別方向から全国に発信したいということなのか、それとも後退してしまったということか。

安福委員

私は市民・協働・行政の中の市民に入るかと思うが、実施状況表を見て、その多さに驚いた。その中で自分が携わるものは少ない。また知らないことも多い。自身の専門である美術以外、音楽や郷土のこと等他分野は分からない為、この表は分かりやすい。しかし、これだけ多くの事業を行う中で、評価をしていくという事は、この委員会は質的な向上を目指すため位置づけられているのかと思う。

荒川副委員長

不明というのはおそらく調査困難、市役所側では把握がしづらい部分。また、市役所から見た場合と市民から見た場合は当然違うだろう。年代や立場によっても、状況評価に差があるのでは。そして現実問題として、予算が出る出ないはある。よく対費用効果というが、どの程度評価が必要か。予算に見合った効果が必要という観点なのか、予算に見合わなくてもやっておくべきという観点で見るのか。これは今後疑問点となるだろう。

末延委員長

文化を推進するにあたり、その方向やキーポイントを定める。また、市が行う文化の取り組み情報が市民に行き渡らず、それに対して結果が伴わないことについて、この委員会で

考えていくのか。それらを含めて、これから整理が必要。まずは具体的な部分から取り組む為、次回からラブリーホールの文化事業の中身について、話を聞きながら進めていく。余談だが、私は12月まで枚方の芸術文化条例作成委員を兼ねている。市長や教育長が変わっても、条例の作成により基盤を作成することを目的としている。その審議会の会長が、この文化振興計画を作成されたと聞いた。ぜひ河内長野も、推進と言わず、文化が向上するような位置づけで今後取組んでいきたい。

案件5 公益財団法人 河内長野市文化振興財団の概要説明

・萬木館長より概要説明

末延委員長

「2.近畿地区トップクラスの自主事業実施数」ということで平成23年度の回数を書いており、大幅に平均を上回っている。

萬木館長

平均値のみ表記している為、回数の多い他市施設もあるだろうが、単純に比較すればトップクラスになる。

末延委員長

大阪府下で72館あると。

萬木館長

全国公立文化施設協会で見出されている数が72となっている。

末延委員長

次回ラブリーホールを見学する。この時点で他に質問あればどうぞ。

来村委員

実際的な問題をクリアしながら、最大限の努力をされているのだろう。これを我々がどう評価すればいいのか、まだ疑問が残る。素晴らしい実績だと思う。

萬木館長

改善点は色々あると思う。客観的に見ていただき、さらに良くなるよう助言を頂ければ。

末延委員長

また他館との関係も比較しつつ、ラブリーホールの実績を分析していきたい。あくまで第三者機関として、ラブリーホールのみならず、市へ対しても意見を述べていこうと思う。

案件6 その他

- ・寶楽委員への委嘱状交付
- ・第3回委員会開催日の調整

【閉会】